

2023年度（令和5年度）

# 事業計画書（案）

## 2023年度（令和5年度）事業方針

令和2年初頭から世界中に広がりを見せた新型コロナウイルス感染症は、約3年が経過しましたが、その取り扱いを巡っては、令和5年5月8日より季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針が決定されました。

この間当協会でも多大な影響を受け、事業の縮小や中止、または管理施設の利用者が大幅に減り、予定していた収益を確保できないなど、全てにおいて新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた計画となっておりましたが、そんな状況下においても苫小牧市民の皆様が安全安心にスポーツに親しんでいただくことを考え事業を実施してきました。

令和5年度においては国の対応方針が見直され、ほぼ制限なく事業を行える状況となりますが、コロナ禍で得た運営手法などを発揮し事業を実施して参ります。

こうした状況も踏まえ、第4期指定管理の最終年となる令和5年度は、計画した内容の目標達成と検証、新規事業への挑戦、事業の見直しや廃止、収益向上へ向けた新たな取り組みを加えるなど、PDCAサイクルを実施しチーム一丸となり質の高い運営に心がけます。

また、本年7月～8月に開催されるインターハイテニス・ソフトテニス競技、来年2月に開催される国民スポーツ大会冬季スケート競技会への協力、氷都とまこまいの魅力を向上するため、氷上スポーツ育成事業の拡大やレッドイーグルス北海道と連携した事業の実施、首都圏、関西圏などからの教育旅行等の誘客などに取り組みます。

さらに持続可能な開発目標 SDGs や温室効果ガス実質排出量ゼロを目指すゼロカーボンシティへの取り組みも進めて参ります。

我々苫小牧市スポーツ協会は、第5期指定管理の事業計画作成に着手するにあたり、この5年間そしてその先の未来へ向けた当協会の目指すべき目標を設定し、世の中のさまざまな動きに対応できる強さを身につけ進化する必要があります。我々が進化し持続可能な組織となることで、苫小牧市のスポーツ推進計画の達成に貢献することができると考えます。上記の考えをもとに、スポーツ協会の未来を見据えた中期経営計画（令和6年度～令和10年度）を作成し、4つの目標を掲げ、事業の充実や新規事業への取り組み、収益の確保など財政の面の強化も行い組織の健全化を図って参りたいと考えております。

おわりに、目まぐるしく変化する社会情勢の中、苫小牧市のスポーツ振興に貢献できるよう日々努力を重ね、加盟団体35団体やスポーツ団体、地域団体など関係する皆様のお力添えをいただきながら、全力でチャレンジして行く1年にして参ります。

## 2023年度（令和5年度）事業計画

### 1. 公益目的事業

#### 公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業

本事業は、苫小牧市・苫小牧市スポーツ協会・競技団体が事業を主催し、スポーツに関する多様な事業を企画・実施することにより、地域のスポーツの普及振興を図り、広く市民にスポーツへの参加機会を提供する。

※事業名（実施時期／参加見込）

ア. スポーツ大会等開催事業（定款第4条第1号事業）事業費16,044,000円

市民スポーツ祭など各種大会を実施し、中高生から一般まで幅広い年齢層を対象に体力の向上、競技力の向上を目的とした事業を開催する

#### ①市民スポーツフェスティバル

第21回市民フロアカーリング大会（7月／50名）

第7回苫小牧市民パークゴルフ交流大会（9月／200名）

第55回市民バドミントン大会（9月／200名）

第55回市民卓球大会（10月／470名）

第22回市民スポンジテニス大会（9月／50名）

第42回市民ソフトテニス大会 中学2年生以下の部／一般の部（10月／310名）

第40回とまこまいマラソン大会（7月／1,500名）

とまこまいランニングフェスティバル2023（7月勇払マリーナ周辺）[※新規事業](#)

とまこまいスポーツフェスティバル2023（10月／2,000名）

#### ②共催事業

JFAフットボールデー2023北海道 in 苫小牧（未定／未定）

第45回苫小牧市民ラグビー祭（未定／120名）

第49回苫小牧地区弓道選手権大会（9月／110名）

第48回苫小牧バレーボールまつり（9月～12月／640名）

#### ③スポーツ大会開催事業

大鷲旗争奪第60回苫小牧朝野球大会（未定／580名）

苫小牧北ロータリークラブ杯第23回 Jrアイスホッケーチャレンジカップ [※新規協賛事業](#)  
（12月／100名）



イ. スポーツ教室・講習会開催事業（定款第4条第1号事業）事業費7,564,000円  
幼児、児童、親子、一般、女子、高齢者など対象別に各種スポーツ教室、講習会を開催し、スポーツに関する学習の機会やスポーツへの動機づけ、基礎技術の習得、体力づくり、健康の維持増進の場を提供する。

①スポーツ教室・講習会

- 運動会目前!!キッズかけっこ教室（5月/140名）
- 初級・中級テニス教室（6月/160名）
- 基礎から学ぶはじめての弓道教室(中学/一般)（5月～7月・9月～10月/200名）
- アウトドアスポーツ体験教室 前期（10月/40名）
- 市民ソフトテニス教室（11月/96名）
- アウトドアスポーツ体験教室 後期（1月/40名）
- TOMAKOMAI チャレンジスポーツクラブ 後期（1月～3月/90名）
- 基礎から学べる小学生バドミントン体験教室 **※事業廃止**



②共催事業

- 市民アーチェリー教室（5月/60名）

③氷上スポーツ育成事業

- スケートエンジョイスクール 白鳥会場（10月～3月/1,920名）
- スケートエンジョイスクール 沼ノ端会場（10月～3月/1,280名）
- スケートエンジョイスクール 新ときわ会場（10月～3月/1,280名）
- スピードスケート体験教室（10月～2月/350名）
- 展示室整備事業（通年）
- 広告フェンス取り付け事業（4月～6月）



## 公1-2 スポーツ普及のための人材登録・紹介事業及び、競技力向上等事業

本事業は、スポーツ活動を続けていく上で重要な、スポーツ指導者やスポーツボランティアを登録及び紹介することを目的とした事業を実施する。また、競技力向上のための各種スポーツ講演会等の開催、競技団体活動助成を行う

ア. スポーツ人材登録及び紹介事業（定款第4条第2号事業）事業費127,000円

### ①TSPO人材バンク（通年）

スポーツ指導者やスポーツボランティアの人材登録を促進するとともに、当協会ホームページで登録指導者を紹介し、地域からの要望に応じ指導者、ボランティアの紹介を行う。

- (1) スポーツ指導者発掘及び登録紹介事業
- (2) 部活動指導者発掘及び登録紹介事業
- (3) スポーツボランティア発掘及び登録紹介事業

### ②中学校部活動の地域移行に関する事業 **※新規事業**

- (1) 苫小牧市教育委員会アイスホッケーの休日部活動指導に関する事業
- (2) 苫小牧市教育委員会部活動のあり方に関する検討委員会への参画



イ. 競技力育成強化等に関する事業（定款第4条第3号事業）事業費1,455,000円

### ①加盟団体強化事業（通年）

加盟団体の競技力向上や普及を目的として、別に定める助成金要綱により、年に1回活動助成金の支給を行うとともに、全道・全国大会を誘致した加盟団体に対し、別に定める助成金要綱に基づき、大会助成金を支給する。

### ②講演会等開催事業（未定／30名）

競技力育成強化を目的とした講習会等を開催し、スポーツ活動に役立つ知識や最新の情報を、広く指導者・選手・一般愛好家に対し啓蒙していく。

## 公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業

各地で開催される全国・全道大会に参加する際に遠征費の一部助成を行う。市内のスポーツ愛好者にスポーツに親しみ地域間でスポーツ交流できる機会を提供する。スポーツによる青少年の健全育成を目的とした各種事業を企画・実施しスポーツ少年団の育成を図る。苫小牧市内において特に顕著な功績のあった者を表彰する。

ア. スポーツ大会参加奨励に関する事業（定款第4条第4号事業）事業費1,000,000円

①全道・全国大会参加助成事業（通年）

地区予選・推薦を経て苫小牧市の代表として、全道・全国・国際大会に出場するスポーツ少年団・小学生・中学生・高校生・大学生・一般に遠征費の助成を行う。

イ. スポーツ少年団育成事業（定款第4条第5号事業）事業費1,776,000円

①大会開催事業

各種競技の大会を開催する事でスポーツに親しむ機会を提供し、競技力の向上と青少年の健全育成を図る。

第49回市長旗争奪少年野球大会（5月／270名）

第21回本部長フットボールフェスティバル（7月／240名）

第51回スポーツ少年団剣道交流会（10月／120名）

第54回交歓大会兼第30回高沢杯争奪大会（9月／270名）

教育長杯争奪第37回フットサル冬季交歓会（未定／180名）



②少年団リーダー・指導者養成事業

各種研修会、交流会にスポーツ少年団指導者及び団員を派遣し、指導者の育成、リーダーの育成を図る。

北海道スポーツ少年大会（未定）

北海道スポーツ少年団リーダー研修会（未定）

胆振管内スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（未定）

苫小牧市スポーツ少年団ジュニアリーダー交流研修会（未定／100名）

北海道スポーツ少年団指導者研究大会（未定）

スポーツリーダー兼少年団認定員養成講習会（未定）

苫小牧市スポーツ少年団指導者母集団研修会（3月／40名）



ウ. スポーツ功績者表彰に関する事業（定款第4条第6号事業）事業費886,000円

①スポーツ功績者表彰事業

苫小牧市のスポーツ普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「特別賞」「功労賞」「優秀賞」「奨励賞」「感謝状」を贈呈する。

②スポーツ少年団表彰事業

苫小牧市スポーツ少年団の普及発展に尽力された方、競技大会において優秀な成績を収めた個人、団体を対象とし、その功績に応じ「育成功労賞」「スポーツ奨励賞」を贈呈する。



公1-4 スポーツ（スケート競技）振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業

氷都苫小牧のスケート競技人口拡大のための普及事業や、競技力向上のための事業を開催、及び競技団体の事業を支援。指定管理者としてスケート競技の拠点施設である白鳥王子アイスアリーナや、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナの管理運営を行う事により、施設を活用した様々な教室やイベントを開催する事が出来る。

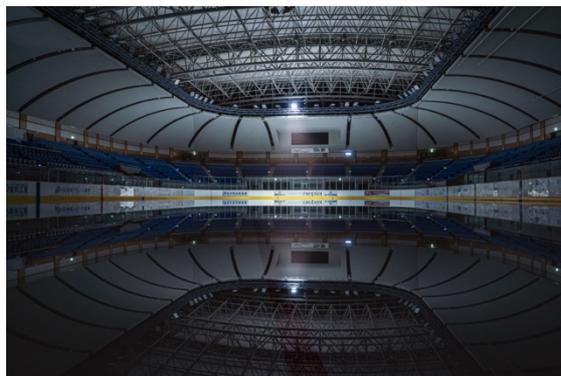
ア. 白鳥王子アイスアリーナ自主事業に関する事業（定款第4条第7号事業）

事業費1,584,000円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「白鳥王子アイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする。

- (1) 水鏡見学会（4月／ 名）
- (2) 9月スケートスクール（9月／80名）
- (3) TWIST スキルアップスクール 中学生対象（5月～7月／500名）
- (4) 大人のためのアイスホッケースクール（9月～12月／400名）
- (5) ウォーキングセミナー（未定／30名）
- (6) ランニングセミナー（未定／30名）
- (7) ランニング・ウォーキング・サイクリングステーション事業 **※新規事業**
- (8) スケート・アイスホッケー体験教育旅行誘致事業（6月～12月） **※新規事業**
- (9) スケートボード・ランニングバイク体験会（4月～6月） **※新規事業**
- (10) カジュアルホッケー（7月～3月／730名）
- (11) 七夕企画「スポーツ短冊で夢を叶えよう！！」（7月～8月）
- (12) クリスマスライトアップ滑走（11月～12月）
- (13) 貸スケート・スケート研磨事業（通年）
- (14) 使用料コンビニ決済事業（通年）

- (15) アイスホッケーデー（未定）
- (16) 白鳥王子アイスアリーナ感謝祭（未定）
- (17) 全国アイスリンク技術研究ミーティング（未定）



## イ. ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業

（定款第4条第7号事業）事業費658,000円

各種イベント、教室等を開催し地域住民にスケートに親しむ機会を提供することにより「ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ」と地域との交流を深めることを目的とする。

- (1) 水鏡見学会（4月／ 名）
- (2) 10月スケートスクール（10月／80名）
- (3) 11月スケートスクール（11月／80名）
- (4) 12月スケートスクール（12月／80名）
- (5) 1月スケートスクール（1月／80名）
- (6) DYNAX アイスホッケースクール（未定／80名）
- (7) パラアイスホッケー体験会（未定／20名）
- (8) カーリング体験会（未定／20名）
- (9) ランニング・ウォーキングステーション事業（通年／1,000名） **※新規事業**
- (10) スケート・アイスホッケー・カーリング体験教育旅行誘致事業 **※新規事業**
- (11) レッドイーグルス北海道スキルチャレンジ（6月／100名）
- (11) カジュアルホッケー（6月～3月／1,130名）
- (12) 七夕企画「スポーツ短冊で夢を叶えよう！！」（7月～8月）
- (13) 貸スケート・スケート研磨事業（通年）
- (14) 使用料コンビニ決済事業（通年）
- (15) お正月イベント（1月）



ウ. 施設の貸出しに関する事業（定款第4条第7号事業）事業費258,821,000円  
 白鳥王子アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナの設置目的を踏まえ、各種競技大会、専用利用、研修会、レクリエーション、個人のトレーニング利用などに、アリーナ、会議室、トレーニング室の貸し出しを行う。施設の維持管理にあたっては「体育施設管理士」「体育施設運営士」の両資格を有する「上級体育施設管理士」が8名おり、利用者の安全な施設利用のため万全を期している。貸出方法は、苫小牧市白鳥アリーナ条例及び規則、苫小牧市スポーツセンター条例及び規則、運用内規などに基づき利用の受付、貸出、利用料金の徴収を行う。また、利用状況、利用の方法などについてはホームページで公表している。

①白鳥王子アイスアリーナ管理運営事業

- 一般滑走（7月～3月／3,500名）
- トレーニング室（通年／10,000名）
- リンク専用貸切（7月～3月／83,000名）
- 会議室専用貸切（通年／4,000名）

合計100,500名見込



②ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ管理運営事業

- 一般滑走（6月～3月／5,500名）
- リンク専用貸切（6月～3月／55,000名）

合計60,500名見込



③省エネ診断の実施 **※新規事業**

一般社団法人省エネルギーセンターによる省エネ最適化診断を実施し、設備使用状況や運転管理状況等を調査。診断結果をもとに苫小牧市が2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦に指定管理者として取り組む。

さらに、SDGs 持続可能な開発目標の「7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「13. 気候変動に具体的な対策を」などの達成につなげる

## 2. 収益事業

### 物品販売等事業

本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業で、白鳥アリーナで開催されるアジアリーグのチケット販売、グッズの販売、大会写真販売など利用者サービスの一環として収益を得ることを目的とした事業を行う。

ア. 物販等事業（定款第4条第8号事業）事業費57,000円

- (1) 各種興行チケット販売事業
- (2) 写真販売事業
- (3) グッズ委託販売事業
- (4) リサイクルスケート靴販売・レンタル事業 [※検討中](#)
- (5) コワーキングスペース貸出事業 [※検討中](#)



### イ. その他事業

#### ①北海道盲導犬募金箱設置事業

年に一度北海道盲導犬協会より、アジアリーグ試合開催時に来場いただき当協会職員とともに募金活動を実施



#### ②市内企業・団体と地域貢献活動

- (1) 白鳥王子アイスアリーナ花壇整備事業  
株式会社小金澤組、小学生アイスホッケー同好会連合会、レッドイーグルス北海道、公益財団法人苫小牧市スポーツ協会による花壇整備事業を実施
- (2) ダイナックス沼ノ端アイスアリーナガーデンロード事業  
沼ノ端交流センター内北栄児童センターとの共同花壇整備事業を実施



### ③オリンピック大澤ちほさんとのアドバイザー契約 [※新規事業](#)

「より一層魅力的なスケートの街とまこまいを作る！」をテーマに大澤ちほさんとのアドバイザー契約を結びスポーツ協会とともに以下の内容等について取り組む

- (1) エンジョイスクールやスケート教室の実技指導
- (2) 選手対象スキルアップスクールなどの講師
- (3) 選手目線の施設利用者サービス向上策の提案
- (4) スケート・アイスホッケー普及のための指導者育成やマニュアルの整備
- (5) その他テーマ達成に必要なこと

### ④広報活動について

- (1) TSP0 ホームページによる情報発信
- (2) TSP0 アプリの活用について
- (3) Facebook による情報発信について
- (4) LINE ビジネスアカウントを使用した情報配信 [※新規事業](#)
- (5) Twitter による情報発信について [※新規事業](#)

### ⑤苫小牧市アニメツーリズム事業について

#### (1) アイスホッケー漫画 PR [※新規事業](#)

北海道を舞台にした人気漫画「ゴールデンカムイ」の作者野田サトルさんがこの春、集英社の「週刊ヤングジャンプ」で氷都苫小牧を舞台にした高校アイスホッケー漫画が10年ぶりに再び掲載されることが決定したことから苫小牧市、観光協会と協力し氷都苫小牧をPRする事業を実施する

### ⑥苫小牧都市再生コンテンツ創造事業への参画

#### (1) レッドイーグルス北海道集客支援事業 [※新規事業](#)

令和5年度は、苫小牧都市再生プロジェクト委員会から、プロジェクトの全体管理を苫小牧観光協会に委託される計画で、苫小牧市未来創造戦略室、事業の実施主体となる苫小牧観光協会よりスポーツ支援の部分でレッドイーグルス北海道集客支援について事業協力する

## ⑦職員研修事業

- (1) 日本ケアフィット共育機構「サービス介助基礎研修」の開催 [※新規事業](#)  
(6月／20名程度)

指定管理施設の職員として、高齢な人や障がいのある人、何らかの配慮が必要な方などに対しおもてなしの心とのコミュニケーションスキルアップを目指し、車いす操作や視覚障がい体験などサービス介助の基礎研修会を開催します。

- (2) 日本公共スポーツ施策推進協議会研修会への参加（2月／2名）

上記協議会は、指定管理者制度の活用、地域の活性化、市民の安全性の確保及び情報通信の高度化等の活用事例を研究・情報共有し、国内の外郭団体の活性化と公共スポーツ施策の充実を図ることを目的に平成27年に設立され、当協会は平成30年度に加入し以来、職員研修の機会として職員を派遣

2023年度（令和5年度）

# 収 支 予 算 書

令和5年度 公益財団法人苫小牧市スポーツ協会収支予算書  
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

単位：円

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
<b>I 収入の部</b>				
<b>1. 基本財産運用益</b>	<b>15,000</b>	<b>15,000</b>	<b>0</b>	
基本財産運用収入	15,000	15,000	0	基本財産定期預金利息
<b>2. 事業収入</b>	<b>20,572,000</b>	<b>15,286,000</b>	<b>5,286,000</b>	
(1) スポーツ大会開催事業収入	14,624,000	9,702,000	4,922,000	マラソン大会・スケートエンジョイスクール参加料増
(2) スポーツ少年団事業収入	0	70,000	△ 70,000	リーダー交流会参加料減
(3) 自主事業収入	5,948,000	5,514,000	434,000	新規事業の各種使用料収入増
<b>3. 利用料金収入</b>	<b>50,730,000</b>	<b>50,730,000</b>	<b>0</b>	
(1) 白鳥王子アイスアリーナ利用料金収入	30,636,000	30,636,000	0	一般・専用利用収入
(2) ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ利用料金収入	20,094,000	20,094,000	0	一般・専用利用収入
<b>4. 受託事業収入</b>	<b>207,491,000</b>	<b>192,244,000</b>	<b>15,247,000</b>	
(1) 受託事業収入	207,491,000	192,244,000	15,247,000	
白鳥王子アイスアリーナ指定管理費	155,645,000	144,258,000	11,387,000	定期昇給、灯油単価UP、電気料UPによる増額
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ指定管理費	51,846,000	47,986,000	3,860,000	定期昇給、灯油単価UP、電気料UPによる増額
<b>5. 補助金収入</b>	<b>48,853,000</b>	<b>45,188,000</b>	<b>3,665,000</b>	
(1) 苫小牧市	48,853,000	45,188,000	3,665,000	
スポーツ協会補助	45,634,000	42,998,000	2,636,000	
運営費補助	37,037,000	35,901,000	1,136,000	定期昇給、嘱託事務員報酬額、退職積立金の増額による
事業費補助	6,148,000	4,648,000	1,500,000	マラソン大会・スポフェス経費の増額による
加盟団体補助	1,400,000	1,400,000	0	
スポーツ少年団補助	1,049,000	1,049,000	0	
氷上スポーツ育成事業補助	3,219,000	2,190,000	1,029,000	
スケートエンジョイスクール事業	2,270,000	1,241,000	1,029,000	エンジョイスクール経費増額による
スピードスケート振興事業	300,000	300,000	0	
展示室整備事業	31,000	31,000	0	
広告フェンス取付事業	618,000	618,000	0	
<b>6. 寄附金収入</b>	<b>1,300,000</b>	<b>1,300,000</b>	<b>0</b>	
(1) 寄付金収入	1,300,000	1,300,000	0	スポーツ事業資金造成協賛会(しばれ焼き)他寄附金
<b>7. 登録料収入</b>	<b>859,000</b>	<b>859,000</b>	<b>0</b>	
(1) スポーツ少年団登録料	859,000	859,000	0	スポーツ少年団登録料
<b>8. 負担金収入</b>	<b>300,000</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>	
(1) 加盟団体負担金収入	300,000	300,000	0	加盟団体(35団体)負担金
<b>9. 雑収入</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	
(1) 受取利息収入・グッズ収入等	1,000,000	1,000,000	0	グッズ販売収入
<b>10. 基本財産収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
(1) 基本財産収入	0	0	0	
<b>11. 記念事業積立準備金繰入収入</b>	<b>0</b>	<b>3,000,000</b>	<b>△ 3,000,000</b>	
(1) 記念事業積立準備金	0	3,000,000	△ 3,000,000	70周年事業終了のため減額
<b>12. 設立70周年・財団化30周年事業</b>	<b>0</b>	<b>550,000</b>	<b>△ 550,000</b>	
(1) 記念事業収入	0	550,000	△ 550,000	70周年事業終了のため減額
<b>13. 特定預金取崩収入</b>	<b>0</b>	<b>580,000</b>	<b>△ 580,000</b>	
(1) 特定預金取崩収入	0	580,000	△ 580,000	退職予定者なしのため減額
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>331,120,000</b>	<b>311,052,000</b>	<b>20,068,000</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>1,371,000</b>	<b>1,237,000</b>	<b>134,000</b>	
<b>収入合計 (B)</b>	<b>332,491,000</b>	<b>312,289,000</b>	<b>20,202,000</b>	

科 目	予算額	前年度 予算額	増減額	摘 要
<b>Ⅱ 支出の部</b>				
<b>1. 公益目的事業</b>	<b>290,805,000</b>	<b>267,609,000</b>	<b>23,196,000</b>	
<b>公1-1 スポーツに関する大会、教室、講習会等開催事業</b>				
	<b>23,608,000</b>	<b>16,258,000</b>	<b>7,350,000</b>	
ア スポーツ大会開催事業	16,044,000	9,619,000	6,425,000	マラソン大会・スポフェスの経費増額
イ スポーツ教室・講習会開催事業	7,564,000	6,639,000	925,000	エンジョイスクール経費増
<b>公1-2 スポーツ普及のための人材登録・紹介事業及び、競技力向上等事業</b>				
	<b>1,582,000</b>	<b>1,582,000</b>	<b>0</b>	
ア スポーツ人材登録及び紹介事業	127,000	127,000	0	TSPO人材バンク経費
イ 競技力育成強化等に関する事業	1,455,000	1,455,000	0	加盟団体助成金・講演会開催経費
<b>公1-3 スポーツ大会への参加奨励、スポーツ少年団の育成、功績者表彰事業</b>				
	<b>3,662,000</b>	<b>3,662,000</b>	<b>0</b>	
ア スポーツ大会参加奨励に関する事業	1,000,000	1,000,000	0	全道全国大会 遠征費助成金
イ スポーツ少年団育成事業	1,776,000	1,776,000	0	少年団大会・交流会経費
ウ スポーツ功績者表彰に関する事業	886,000	886,000	0	スポーツ表彰経費
<b>公1-4 スポーツ(スケート競技)振興のための各種教室の開催及び施設の管理運営事業</b>				
	<b>261,953,000</b>	<b>246,107,000</b>	<b>15,846,000</b>	
ア 白鳥王子アイスアリーナ自主事業に関する事業	2,037,000	1,851,000	186,000	新規事業経費の増
イ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ自主事業に関する事業	1,095,000	682,000	413,000	新規事業経費の増
ウ 施設の貸出に関する事業	258,821,000	243,574,000	15,247,000	
白鳥王子アイスアリーナ管理運営事業	186,781,000	175,394,000	11,387,000	定期昇給、灯油単価UP、電気料UPによる増額
ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ管理運営事業	72,040,000	68,180,000	3,860,000	定期昇給、灯油単価UP、電気料UPによる増額
<b>2. 収益事業</b>	<b>57,000</b>	<b>57,000</b>	<b>0</b>	
物販等事業	57,000	57,000	0	グッズ作成委託
<b>3. 法人会計</b>	<b>39,826,000</b>	<b>38,744,000</b>	<b>1,082,000</b>	
ア 管理費	39,826,000	38,744,000	1,082,000	
人件費	36,451,000	35,369,000	1,082,000	定期昇給及び嘱託事務員報酬額UPの増
物件費	3,375,000	3,375,000	0	
<b>4. 固定資産取得支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
ア 固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
<b>5. 特定預金支出</b>	<b>1,503,000</b>	<b>1,449,000</b>	<b>54,000</b>	
ア 特定預金支出	1,503,000	1,449,000	54,000	
特定預金支出	1,503,000	1,449,000	54,000	退職積立金(法人会計職員3人) ※他職員分は白鳥と沼ノ端の管理運営事業費より支出
<b>6. 記念事業積立準備金</b>	<b>300,000</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>	
ア 記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	
記念事業積立準備金	300,000	300,000	0	将来の記念事業に向けた積立
<b>7. 設立70周年・財団化30周年事業</b>	<b>0</b>	<b>3,550,000</b>	<b>△ 3,550,000</b>	
ア 設立70周年・財団化30周年事業	0	3,550,000	△ 3,550,000	
設立70周年・財団化30周年事業	0	3,550,000	△ 3,550,000	70周年事業終了のため減額
<b>8. 退職金支出</b>	<b>0</b>	<b>580,000</b>	<b>△ 580,000</b>	
ア 退職金支出	0	580,000	△ 580,000	
退職金支出	0	580,000	△ 580,000	退職予定者なしのため減額
<b>当期支出合計 (C)</b>	<b>332,491,000</b>	<b>312,289,000</b>	<b>20,202,000</b>	
<b>当期収支差額 (A) - (C)</b>	<b>△ 1,371,000</b>	<b>△ 1,237,000</b>	<b>134,000</b>	
<b>次期繰越収支差額(B) - (C)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

令和5年度 正味財産増減収支予算書  
2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	共通	小計	収1	他1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	15,000	0	15,000
基本財産運用収入	0	0	0	0	0	0	0	15,000	0	15,000
事業収入	292,768,000	0	292,768,000	900,000	0	0	900,000	37,037,000	0	330,705,000
参加料収入	8,594,000	0	8,594,000			0	0	0	0	8,594,000
受講料収入	2,883,000	0	2,883,000			0	0	0	0	2,883,000
負担金収入	300,000	0	300,000			0	0	0	0	300,000
登録料収入	859,000	0	859,000			0	0	0	0	859,000
利用料収入	53,774,000	0	53,774,000			0	0	0	0	53,774,000
管理運営委託料収入	207,491,000	0	207,491,000			0	0	0	0	207,491,000
協賛金・補助金収入	17,567,000	0	17,567,000			0	0	37,037,000	0	54,604,000
寄付金収入	1,300,000	0	1,300,000			0	0	0	0	1,300,000
販売提供収入		0	0	900,000		0	900,000	0	0	900,000
自販機収入		0	0			0	0	0	0	0
受託事業収入		0	0			0	0	0	0	0
雑収入	300,000	0	300,000	0	0	0	0	100,000	0	400,000
雑収入	300,000	0	300,000	0	0	0	0	100,000	0	400,000
受取利息		0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>293,068,000</b>	<b>0</b>	<b>293,068,000</b>	<b>900,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>900,000</b>	<b>37,152,000</b>	<b>0</b>	<b>331,120,000</b>
(2) 経常費用										0
事業費	306,868,000	0	306,868,000	413,000	0	0	413,000		0	307,281,000
役員報酬	1,584,000	0	1,584,000			0	0		0	1,584,000
給料	30,302,000	0	30,302,000	189,000		0	189,000		0	30,491,000
賃金	14,041,000	0	14,041,000			0	0		0	14,041,000
職員手当	16,213,000	0	16,213,000	101,000		0	101,000		0	16,314,000
職員共済費	7,585,000	0	7,585,000	47,000		0	47,000		0	7,632,000
報酬	20,282,000	0	20,282,000			0	0		0	20,282,000
退職金	0	0	0			0	0		0	0
嘱託手当	7,301,000	0	7,301,000			0	0		0	7,301,000
嘱託共済費	4,508,000	0	4,508,000			0	0		0	4,508,000
臨時手当	1,927,000	0	1,927,000			0	0		0	1,927,000
臨時共済費	196,000	0	196,000			0	0		0	196,000
報償費	4,884,000	0	4,884,000			0	0		0	4,884,000
退職給付費用	3,038,000	0	3,038,000	19,000		0	19,000		0	3,057,000
旅費	220,000	0	220,000			0	0		0	220,000
通信運搬費	1,045,000	0	1,045,000			0	0		0	1,045,000
光熱水費	85,989,000	0	85,989,000			0	0		0	85,989,000
消耗品費	6,799,000	0	6,799,000			0	0		0	6,799,000
備品購入費	2,282,000	0	2,282,000			0	0		0	2,282,000
原材料費	0	0	0			0	0		0	0
医薬材料費	22,000	0	22,000			0	0		0	22,000
食糧費	116,000	0	116,000			0	0		0	116,000
修繕費	5,837,000	0	5,837,000			0	0		0	5,837,000
印刷製本費	137,000	0	137,000			0	0		0	137,000
燃料費	26,669,000	0	26,669,000			0	0		0	26,669,000
委託料	26,035,000	0	26,035,000	50,000		0	50,000		0	26,085,000
手数料	1,010,000	0	1,010,000			0	0		0	1,010,000
保険料	1,059,000	0	1,059,000			0	0		0	1,059,000
使用料及び賃借料	6,729,000	0	6,729,000			0	0		0	6,729,000
租税公課	8,897,000	0	8,897,000	7,000		0	7,000		0	8,904,000
助成金	2,565,000	0	2,565,000			0	0		0	2,565,000
負担金	16,948,000	0	16,948,000			0	0		0	16,948,000
補助金	0	0	0			0	0		0	0
雑費	2,648,000	0	2,648,000			0	0		0	2,648,000
管理費								25,210,000	0	25,210,000
役員報酬								1,056,000	0	1,056,000
役員手当								30,000	0	30,000
役員共済費								251,000	0	251,000
給料								7,091,000	0	7,091,000
職員手当								3,827,000	0	3,827,000
職員共済費								1,790,000	0	1,790,000
報酬								3,837,000	0	3,837,000
退職金								0	0	0
嘱託手当								1,570,000	0	1,570,000
嘱託共済費								970,000	0	970,000
退職給付費用								717,000	0	717,000
福利厚生補助								130,000	0	130,000
旅費								109,000	0	109,000

交際費							50,000	0	50,000	
広告料							50,000	0	50,000	
消耗品費							325,000	0	325,000	
食糧費							210,000	0	210,000	
印刷製本費							30,000	0	30,000	
通信運搬費							344,000	0	344,000	
光熱水費							281,000	0	281,000	
燃料費							115,000	0	115,000	
委託料							672,000	0	672,000	
手数料							227,000	0	227,000	
保険料							151,000	0	151,000	
使用料及び賃借料							522,000	0	522,000	
租税公課							391,000	0	391,000	
負担金							464,000	0	464,000	
<b>経常費用計</b>	<b>306,868,000</b>	<b>0</b>	<b>306,868,000</b>	<b>413,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>413,000</b>	<b>25,210,000</b>	<b>0</b>	<b>332,491,000</b>
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 13,800,000	0	△ 13,800,000	487,000	0	0	487,000	11,942,000	0	△ 1,371,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,800,000	0	△ 13,800,000	487,000	0	0	487,000	11,942,000	0	△ 1,371,000
2. 経常外増減の部										0
(1) 経常外収益										0
記念事業積立準備金取崩益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										0
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	227,000		227,000	△ 227,000	0	0	△ 227,000	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,573,000	0	△ 13,573,000	260,000	0	0	260,000	11,942,000	0	△ 1,371,000
一般正味財産期首残高	△ 46,500,000	0	△ 46,500,000	3,326,000	0	0	3,326,000	45,312,000	0	2,138,000
一般正味財産期末残高	△ 60,073,000	0	△ 60,073,000	3,586,000	0	0	3,586,000	57,254,000	0	767,000
II 指定正味財産増減の部										0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	84,660,000	0	84,660,000	0	0	0	0	0	0	84,660,000
指定正味財産期末残高	84,660,000	0	84,660,000	0	0	0	0	0	0	84,660,000
III 正味財産期末残高	24,587,000	0	24,587,000	3,586,000	0	0	3,586,000	57,254,000	0	85,427,000